

### 第3回協議会の様子



#### 第3回協議会のメンバー

<メンバー>

- 中山町自治会
- 中山小学校
- 緑警察署
- 緑土木事務所

<オブザーバー>

- 国土交通省横浜国道事務所
- 学識経験者

<事務局>

- 横浜市道路局施設課

### 協議会で頂いた主なご意見

平成31年1月30日に開催した第3回協議会では、中山町地区において試験的に設置したスムーズ横断歩道等の速度抑制対策について、地域の方々からご意見を頂きました。

- 対策により、車のスピードが低下する効果があったことがわかった。
- スムーズ横断歩道、ハンプは、ぜひ設置してほしい。
- スムーズ横断歩道の幅を狭くするなどして、車のスピードをさらに抑制してほしい。
- クランク型狭さく、狭さくについては、地域の声を聞きながら実施してほしい。
- 社会実験後に、車のスピードが以前の高い速度に戻っている。

### 今後の予定

社会実験の効果検証を踏まえて、引き続き協議会や近隣の皆様と対策方法等について検討を進めます。

【これまで】

- 第1回協議会：課題共有、対策内容の紹介（平成30年8月31日）
- 第2回協議会：対策案の検討（平成30年10月1日）
- ビデオ調査（社会実験中）（平成30年12月11日）
- アンケート調査（平成30年11月27日～12月21日）
- 第3回協議会：対策効果の報告（平成31年1月30日）



【今後の予定】

- 第4回協議会：対策最終案の検討

※本施工に向けて、沿線住民の方々と調整を行ってまいります。  
ご協力お願いいたします。

問合せ先・発行元

横浜市道路局施設課

電話(045)671-2785

担当：<sup>木のきだ</sup>榎田、吉田



横浜市道路局施設課

## 中山町地区 交通安全対策協議会 ニュース

※住居表示の変更に伴い、地区の名称が変更されますが、協議会と資料における名称はこのままで進めさせていただきます。



### 車両の速度抑制のための社会実験を行いました！

みなさん、こんにちは！横浜市道路局です。

横浜市では、緑区中山町地区の生活道路において地域の方々と安全対策を進めています。第3回協議会では、試験的に設置したスムーズ横断歩道等の速度抑制対策の効果等について意見交換を行いました。

<主な対策効果>

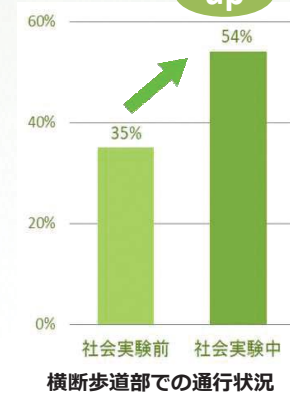
- ・安全対策実施により、**自動車の平均速度が7km/h低下**しました。
- ・スムーズ横断歩道の設置により、ドライバーが一時停止し、**横断者に道をゆずった割合が19%増加**しました。

# スピードの低下 7 Km/h down

# 横断者に道をゆずった割合が 19% 増加



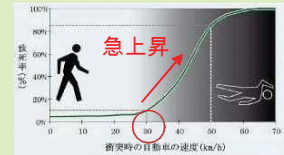
■ 社会実験前：平成29年11月22日～12月16日  
■ 社会実験中：平成30年11月22日～12月16日  
※ETC2.0データ



■ 社会実験前：平成30年9月13日  
■ 社会実験中：平成30年12月11日  
※ビデオ調査データ

### 30km/h以下に抑える理由

30km/hを超えると死亡事故に至る確率が急上昇します。住宅街では時速40～50km/hで走る車も多く、車のスピードを抑制することが大変重要です。



### 目次

- 走行速度..... 1
- 横断歩道での通行状況 .. 1
- 社会実験の概要 ..... 2～3
- アンケート調査結果 ..... 3
- 協議会で頂いた主な意見... .. 4
- 今後の予定..... 4

### <ハイライト>

- 社会実験の結果、車両の速度抑制効果が確認されました。
- この結果を踏まえ、最終案を検討します。

## 社会実験の概要

平成30年11月20日から12月17日までの約1ヶ月間、スムーズ横断歩道等の速度抑制対策の社会実験を実施しました。対策効果を確認するため、実験期間中にビデオカメラにより交通状況を調査し、ビッグデータ（ETC2.0）により交通状況を分析するとともに、地域の方々にアンケート調査を実施しました。

ビッグデータ（ETC2.0）の分析結果をみると、社会実験前と比較して、30km/hを超える区間が大幅に少なくなりました。

なお、社会実験中にはハンプ・狭さくの破損や交通事故はありませんでした。



①クランク型狭さく

②スムーズ横断歩道



③ハンプ



④狭さく

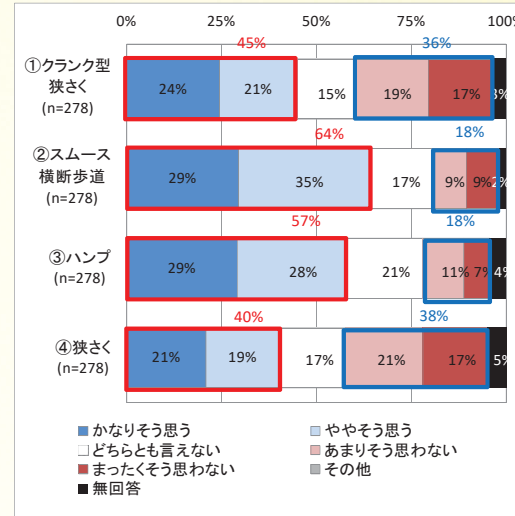


## アンケート調査結果

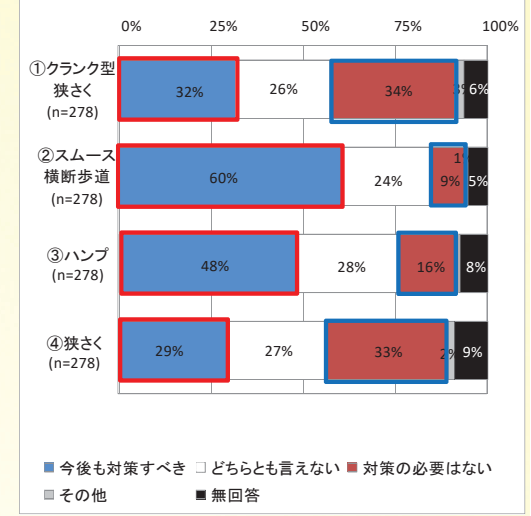
本社会実験の対策効果について、中山町地区一部の方々約1000人にアンケートを配布し、278人から回答を頂きました。

- ◆ スムース横断歩道、ハンプは、60%程度の方が「安全性が向上した」と回答し、必要性についても、半数以上の方が「今後も対策すべき」と回答しています。
- ◆ クランク型狭さく、狭さくは、「安全性が向上した」と「安全性が向上していない」の回答の割合がほぼ同じになっており、必要性についても、「今後も対策すべき」と「対策の必要がない」の回答の割合がほぼ同じとなっています。

Q:対策により、安全性が向上したと思いますか？



Q:今後の対策の必要性について教えてください。



＜地域の方々の主な意見＞

- ・スムーズ横断歩道の設置により、横断歩道で止まる車が増えた。
- ・クランク型狭さくの設置により、路上駐車が減った。
- ・クランク型狭さく・狭さくでは、片側交互通行になるため、渋滞が増えた。
- ・クランク型狭さく・狭さくでは、ゆずらない車もいたため、危険と感じた。